

実証実験のシステム概要図

ブロックチェーンを活用して太陽光発電により発電して余った電力（余剰電力）を「太陽光発電設備の設置者（売り）」と「電力の利用者（買い）」間で取引します。

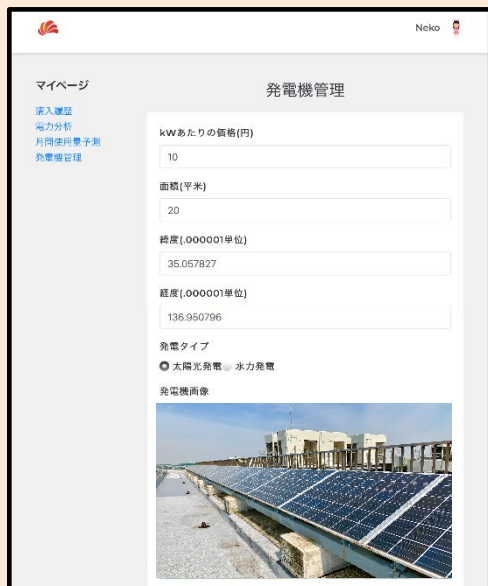
ブロックチェーンを活用した電力取引プラットフォーム※

翌日の発電を売る

- ①ユーザー情報登録
- ②売電情報登録

- ・ID
- ・ユーザー名
- ・画像
- ・パネル情報 (サイズ、緯度・経度)

太陽光発電の登録画面

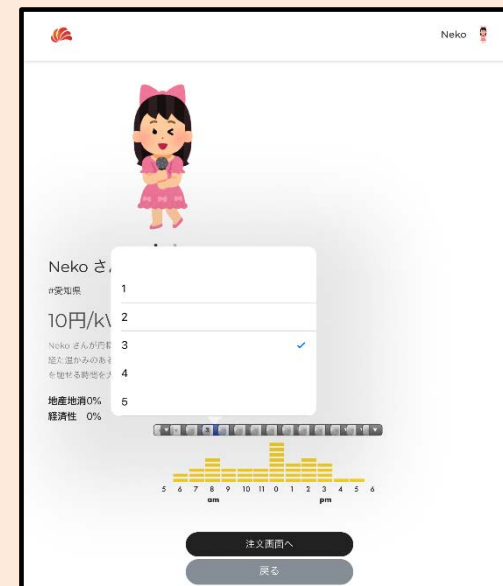


翌日の利用分を買う

- ①ユーザー情報登録
- ②購入指示

- ・ID
- ・ユーザー名
- ・画像
- ・緯度・経度
- ・購入先の選択
- ・時間帯ごとの購入量 (kWh) を決定

購入画面



検証内容

EWFのブロックチェーンの性能や第三者を介さずに適正な取引管理が行われているか など
 売電価格、地産地消電力、プロフィール画像などの要素が取引に与える影響

※EWF (Energy Web Foundation) のブロックチェーンを活用した個人間電力取引プラットフォームを開発
 EWFには世界のエネルギー関連企業等が参加している。(2019/5時点:78社参加)